



パナマ共和国 (Republic of Panama)



- パナマへの援助総額は2014年までに累計658.44億円。
- 110年以上に亘る友好親善関係。
- 日本はパナマ運河の世界最大のユーザー(通航料ベース)。

国概要

(基礎データ)

- ・面積: 7.5万平方キロメートル(北海道よりやや小さい)
- ・人口: 387万人(2014年, 世銀)
- ・首都: パナマシティ
- ・民族: 混血70%, 先住民7%他
- ・言語: スペイン語
- ・宗教: キリスト教(カトリック)
- ・政体: 立憲共和制
- ・元首: フアン・カルロス・バレーラ大統領
(任期5年, 連続再選禁止)
- ・議会: 一院制(定員71名)
- ・GDP(名目): 462.1億ドル(2014年, 世銀)
- ・一人あたりGNI: 10,970ドル(2014年, 世銀)
- ・経済成長率: 6.0%(2015年, 世銀)
- ・失業率: 5.1%(2015年, 会計検査院)
- ・通貨: 1米ドル=1バレルボア(固定)

※特に注がない場合は外務省ホームページをもとに記載。

(略史)

1821年	スペインから独立(大コロンビア)
1903年	コロンビアから独立
1914年	パナマ運河開通
1968年	トリホス将軍による軍事クーデター
1977年	米・パナマ新運河条約締結(1979年発効)
1981年	トリホス将軍死亡(飛行機事故)
1983年	ノリエガ将軍が軍最高司令官に就任
1989年	米国の軍事侵攻, ノリエガ将軍逮捕, エンダラ政権発足
1999年	モスコソ政権発足, パナマ運河返還, 米軍撤退
2004年	トリホス政権発足
2009年	マルティネリ政権発足
2014年	バレーラ政権発足
2016年	拡張パナマ運河開通

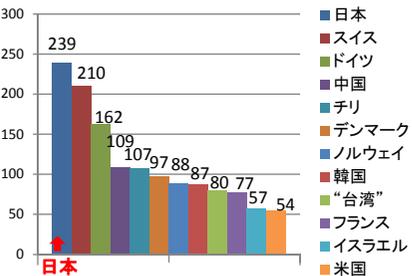
援助実績(E/Nベース)

スキーム	額(累計)／人数(延べ)
円借款	323.21億円 (2014年度末時点)
無償資金協力	36.67億円 (2014年度末時点)
技術協力	298.56億円 (2014年度末時点)
青年海外協力隊	延べ398人 (2016年6月時点で10人)
シニア海外ボランティア	延べ116人 (2016年6月時点で3人)

出典: ODA国別データブック2015
青年海外協力隊事務局統計(平成28年6月末)
(注) 青年海外協力隊には、短期派遣ボランティアを含む。

パナマ運河利用順位

(2014年, 出典: パナマ運河庁)
(単位: 10万ドル, 通航料支払いベース)



経済関係

スキーム	金額／人数(直近年)
日本からパナマへの輸出	5,703億円(2015年, 財務省)
パナマから日本への輸出	381億円(2015年, 財務省)
日本からパナマへの直接投資	約270万ドル (2014年暫定値, パナマ会計検査院) (累計約3億4281万ドル)
在パナマ日系企業数	51社(2016年6月時点, 外務省)
パナマ籍を持つ日本の外航船舶	約6割(2015年, パナマ運河庁)

人的つながり

項目	人数(直近年)
パナマにおける在留邦人数	334人(2015年10月時点, 外務省)
在日パナマ人数	90人(2015年12月時点, 法務省)
日本からパナマへの留学生数	4名(2016年7月, 在パナマ大)
パナマから日本への留学生数	18名(2015年5月時点, JASSO)
日本からパナマへの観光客数	4,515人(2013年, JINTO)
パナマから日本への観光客数	8人(2015年12月時点, 法務省)

日本とパナマ共和国との協力・交流年表

年代	案件
1860年	江戸幕府使節団がパナマ鉄道乗車(日本人初)
1904年	日・パナマ外交関係樹立
1914年	パナマ運河完成
1963年	4名のパナマ人研修員の本邦研修受け入れ
1977年	パナマ市と愛媛県今治市が姉妹都市締結
1979年	対パナマ経済協力開始
1985-1993年	パナマ運河代替案調査(日, 米, パナマによる共同調査)
1988年	JICA/パナマ事務所設立
1989年	青年海外協力隊(JOCV)派遣取極締結
1991年	初の青年海外協力隊員がパナマに到着
1992年	円借款「経済復興借款」(129.5億円)(パナマへの初の円借款)
1993年	無償資金協力「水産物流基盤整備計画」(7.86億円)
2007年	円借款「パナマ市及びパナマ港浄化計画」(193.71億円)(パナマへの2件目の円借款)
2008年	一般文化無償資金協力「パナマ国営ラジオ・テレビ放送局番組ソフト整備計画」(0.41億円)
2010年	一般文化無償資金協力「パナマ大学日本語学習機材整備計画」(0.28億円)
2009-2012年	技術協力「APROVACA経営安定化プロジェクト」(0.15億円)
2011-2015年	技術協力「資源の持続的利用に向けたマグロ類2種の産卵生態と初期生活史に関する基礎研究」
2012年	パナマ外務省・パナマ市が東日本大震災追悼日本庭園をパナマ市内に建設
2015年	パナマ海事庁が今治市に事務所開設
2015-2018年	技術協力「パナマ首都圏下水道事業運営改善プロジェクト」
2016年4月	バレーラ大統領訪日 ✓ 円借款「パナマ首都圏都市交通3号線整備事業」交換公文署名式(パナマへの3件目の円借款) ✓ パナマの外交・公用旅券所持者に対する査証免除措置導入決定 ✓ 日・パナマ租税情報交換協定の正式協議を早期に開始することで合意
2016年6月	拡張パナマ運河開通式典開催
2016年8月	日・パナマ租税情報交換協定署名

日本人技師・青山士(あおやま あきら)が運河建設に従事(1904~1911)。測量作業員から最終的に主任設計技師に昇格。



開発調査「カリブ海沿岸地区地形図作成」を実施。

パナマ運河の通航需用は2020年に現行運河能力を超過する見込みとの調査結果を受け、実際に採用されることになった、第3閘門1レーン追加案を勧告。

建設された水産市場はパナマに対する経済協力のシンボリック的存在。



JICAシニアボランティアとしてパナマ野生蘭保護活動に従事した明智 洗一郎氏は、2014年にパナマ政府から叙勲を受けた。



クロマグロ完全養殖の実績を持つ近畿大学、パナマ水産資源庁、全米熱帯マグロ類委員会との共同研究により、キハダマグロの世界初の完全養殖を目指す。

毎年、パナマ外務省は同庭園で追悼式典を実施。



供与限度額は中南米地域で過去最大の2,810億7,100万円。



運河拡張によりLNG船の通航が可能に。北米からシェールガスを輸入する場合、パナマ運河経由は約25日、スエズ運河経由は約42日、喜望峯ルートは約45日かかると言われている(日数は速力を15ノットと仮定して試算)。